

集いの順序 (Order of Worship)

2024年2月4日

静まりの祈り (Silent Prayer)

みことばと祈る (Praying with the Word) 詩編 145 : 1~21 (Psalm)

賛美 (Song of Prayer) 賛美歌 191 (Hymn)

みことばに聴く マルコ 3 : 7~12 (Mark)

「湖のほとりで」 At the lake side

祈りと聖餐 (The Lord's Table)

讃美と捧げ (Song and Offering) 547 番 (Hymn)

捧げ祈る (Offering and Prayer)

讃美 338 番 (Hymn)

終禱 (Closing Prayer)

お知らせ (Information)

- *引き続き換気、空気清浄、消毒、マスク（状況にそい）の配慮を願います。
- *先週礼拝後残された書初めのコメントを予定する方は戸村まで申し出てください。今後順番をもって礼拝後数名ずつ分かち合ってください。
- *1月29日~2月1日まで静岡裾野黙想の家で塾説教者リトリートが行われ、戸村が参加しました。講師を交え参加者でヘブル人への手紙を黙想しました。
- *次回の聖書を聴く会は2月10日（土）午後5時~6時20分です。
- *2月5日代田教会にて塾例会。戸村参加予定
- *先週ハビリ中の兄弟が数ヶ月ぶりに元気な姿で礼拝に参加できました。皆で様子を聞き、神に感謝するときを与えられました。主に感謝。

先週のみことばからの風の便り (イザヤ第1章 28~31 節)

主なる神がイスラエルの民を養い育て、大きくしてきた。しかし、民は主に背き、反逆する。彼らの退廃を告発する。しかし、エルサレムは残された。その罪咎多き民が捧げる礼拝に主は目もむけたくない、耳を傾けない。虚しい行為に辟易する。洗い、清めなさいと告発する。罪がたとえ緋のように赤くても、雪のように白くされると約束する。さらに都の墮落を告発する。そして、「エルサレムは公平で贖われる」と断言する。主の扱いにことごとく背を向ける民に語るお姿は、親子の愛の関わりに似る。それを遥かに凌ぐ、身を捨てての告発となる。その口調は、背く民の行く末を彼らの前に明らかにし厳しく警告する。主に背を向ける者の滅びを提示し、その道を行くなと警告の呼び掛けを続ける。

祈り

- *病の方、諸教会の為。コロナ・インフルエンザ・戦禍が続く地に平和がおとずれますように。主の御降誕で明らかになった恵みが世界に浸透しますように。闇に光が放たれた真実がキリスト者を通し拡大してゆきますように、